

## 10月のねらい及び今月の各クラス保育の自己評価・自己評価を踏まえての改善点

月のねらい	・自然に触れて遊ぶ。(虫捕り・草花遊び・圓	園外保育など)	川村確
月のねらい	・友だちと関わりながら遊ぶ。(集団あそび・ハンカチ落とし・鬼ごっこ・サッカー遊びなど)		
クラス名	年長児(さくら組)	年中児(うめ組)	年少児(たんぽぽ組)
自己評価	運動会が終わって、子ども同士が集団での遊びや活動を意識的に行う姿が見られるようになった。保育者が介入しすぎず、見守りを行いながら必要な時にだけ助言や手助けを行うようにする。相変わらず立て続けに行事等が続き、やらなければいけない事に追われているところもあるが、時間を見つけなるべく園庭遊びや散歩を取り入れるようにした。徒歩遠足も予想以上に歩けることに驚いた。話を聞く時の姿勢や態度、気が付いたときには声をかけ知らせていく。体調管理には十分気をつけ元気に過ごすことが出来た。	意欲的に取り組んでいる。かかわりが増えた分、自 分の思いを上手く伝えられない悔しさや、相手を思	た。また、園庭ではリレーごっこも続いている。物事の見通しをつけるように意識して、こどもが満足したり達成感を感じるように関わってきた。運動会後の遠足、ハロウィン等の行事もイメージをもって見通しを立てて参加できた。生活に必要な約束事や、自
自己評価を踏まえての改善点	例年通りの戸外遊びには限度があるが、限られた環境や遊具などで思う存分体を動かして遊べるようにしていきたい。普段の散歩でも距離を伸ばし、通学を意識した散歩が出来るようにしたい。室内遊び増えてくると思うので、環境の充実も頭にいれながらいろいろな素材等準備をしていきたいと思う。太鼓等、行事も続くので無理せずこども達と楽しみながら一つ一つをこなしていきたい。	うまく友だちと遊べない悔しさなどを多く経験し、友だちのことを思いやる気持ち、お友達にも気持ちがある事に気付き関わっていけるようにしていきた	友達と遊ぶ楽しさを感じている。また、運動会を機にいろいろな事に挑戦する楽しさを感じている様子なので、遊びの環境設定では、廃材やお絵描きの紙など、自分で選んで使えるように整えていく。また、遊びが広がるように、体育用具を使ったり、ボールを用意したりしながら色々な動きも楽しんでいく。製作面では、自分でできたという達成感を味わえるように、やり切れるものを用意していく。
クラス名	未満児(2歳児)	未満児(1歳児)	未満児(0歳児)
自己評価	やってはいけないと分かってて保育士の顔色を伺いながらわざとやってみたり、変にテンションが高く、気持ち・行動に落ちつきがない姿も見られる。そんなこども達の姿から、外で身体を動かせるような活動を設定したり、絵本の読み聞かせの時間を設けたり、活動の流れを工夫し、静と動を意識しつつ過ごしていった。	10月に入ってから散歩車なしで誘導ロープのみでの散歩に挑戦している。月齢の高い子のほうが甘えたい気持ちからなのか散歩車に乗りたがる姿が見られる。また、月齢の高い子と低い子の歩くペースの違いが目立ってしまう時もある。また、散歩バックを持ち歩くことにより、秋の自然物(栗、ねじり花など)触れる事が出来た。最近さらに言葉が増えてきて、友達や保育士と楽しく会話する姿が増えてきたがその中でうまく伝わらず大声になってしまったり、手が出てしまう事もある。	た。「らようたい。」とアヒニールして、積極的に触   れているこども達だった。また、友達への関心
自己評価を踏まえての改善点	く、「もういい!」「一緒に遊ばない」などと言い合ったり、 思い通りにいかないことがあると叩いたりという姿も見ら	誘導ロープを持つ際に、1人で持ちたい気持ちが強くトラブルになってしまう。2歳児の散歩の様子を見て「2歳さん上手だね。仲良く誘導ロープもっててすごいね」と話をすると真似をして徐々に友達と持てるようになってきた。言葉がうまく伝わらず大声になってしまうときや手が出てしまう時は、「優しい声でお話ししよう」とやって見せたり、「〇〇だったね」「〇〇って言いたかったんだよね」「一緒にお話ししてこようか」など工夫した仲立ちを考えていきたい。	友達に関わる楽しさを感じている様子は見られるが、遊びの中で"一緒に"という行為は難しく、トラブルになってしまっている。しかし、やり取りに時間を要するものの、"一緒に"ということを理解し楽しんでいる姿も時折見られている。今後も、そのようなやり取りのフォローをすると共に、玩具の個数、用意の仕方を工夫していきたい。

